

令和3年度 第2回燕市総合計画審議会（書面開催） 委員からの意見・質問および回答

①第2次総合計画実績評価

No.	施策名	意見・質問	回答	担当課
戦略1 定住人口増戦略				
1	ものづくり産業の活性化	成果指標の実績値年度が2年ずれており、直近の実態が反映されていない。他の指標に対して違和感がある。直近の実態が反映される適切な項目にする必要があるのではないかな。	次年度の実績評価および第3次総合計画策定にあたっては、直近の実態が把握できる代替指標を検討してまいります。	商工振興課
2	ものづくり産業の活性化	雇用対策、特に若者を全国から燕地域に集める施策がもっと必要だと思う。 企業説明会、SNS(インスタ、YouTube)発信で「ものづくり」と言えば「燕TSUBAME」を定着させる。また、日本の人口減少が加速するので、外国人材も世界から集まるような工夫が必要。 製造業のDXも先進国を研究して導入をしてはどうか。イスラエル等参考に。	コロナ禍を契機に、都市部に集中していた人口が、徐々に魅力ある地方に分散していく動きが見られます。 現在もSNS等の様々なコンテンツを活用した産業のPRを行っているところではありますが、今後も本市の魅力を分野横断的にアピールできるよう工夫してまいります。令和4年度については、大河津分水通水100周年を迎えるため、記念イベントやSNSなどを通じて、大河津分水の通水を機に発展した産業を広く発信する予定です。 また、製造業のDX推進について、先進事例を調査・研究してまいります。	商工振興課
3	新たな産業育成・創業の支援	小規模でも高い技術を持つ会社が後継がなく閉業を余儀なくされているという話をよく聞く。創業支援と同時に後継者対策にもっと力を入れても良いのではないかな。 他人が後継ぎとなれるような研修支援などは定住促進にもつながる。	経営者の高齢化や後継者不足による廃業の増加は、市内のサプライチェーンの分断に繋がる可能性があり、製造業全体への悪影響が懸念されます。 市が後継者探しを直接支援することはできませんが、「新潟県事業承継・引継ぎ支援センター」や「燕三条地区事業承継ネットワーク」と連携し、廃業が進むことによって消滅・縮小が懸念される技術の承継や後継者育成に向け、これまでの事業内容の見直しを検討するなど、効果的な支援策を講じてまいります。	商工振興課
4	変化に対応する農業の振興	儲かる農業を目指す取組には農地集積による規模拡大や生産コスト低減を進めるとともに、稲作だけに頼らない園芸作物などの導入も推進していくことが重要です。JA越後中央も園芸振興には力を入れているところであり、多角的な経営に関する指標項目も必要ではないかな。	生産者を含め、様々な方からの意見を参考に消費者ニーズにマッチした農業生産活動が必要と考えます。その中で、第3次総合計画策定に向け、どのような指標が適しているのか検討してまいります。	農政課

No.	施策名	意見・質問	回答	担当課
5	変化に対応する農業の振興	現在の指標にある米生産のコスト低減には、直播栽培だけでなくドローンやICT自動給水栓による水管理など、スマート農業の導入も考えられる。このような視点も組み入れてはどうか。燕市は基盤整備も進んでいることから、農業のDX化が進めやすい環境にあると考えられる。	現状では米価の上昇は期待できない状況にあります。そのため、生産に係る資材費や労務費などのコストを抑えることが必要となっています。生産者や農業関係機関と協議し検討した中で、モデル地区を設定し、農業のDX化を推進することで、効率的で持続可能な農業生産活動が行えるよう検討してまいります。	農政課
6	変化に対応する農業の振興	農業の情勢は米価の下落、資材の高騰、農業機械の高額化など、非常に厳しい状況にあります。農政課の方とゆっくり話し合ってみたいです。	農業者の経営努力だけでは解決できない問題も含んでいると考えられることから、農業再生協議会及び農業振興協議会の意見などを踏まえ検討してまいります。	農政課
7	知・徳・体を育成する教育の推進	自己評価について、「魅力ある学校づくり」とあるが、具体的に魅力ある学校とはどのような学校と考えているのか。	「魅力ある学校づくり」とは、学校が、児童生徒や地域の現状、課題を捉え、家庭や地域社会と連携・協働しながら、教育活動を創意工夫し、児童生徒の力を伸ばすことであると考えております。	学校教育課
8	安心して産み育てられる子育て支援	人口の減少傾向について思うこと・・・新しい世帯への移住サポートをしているが、「産み育てる街」にする為には、産院が必要だと思えます。燕市には、産科が無くなってしまいました。家から近い産院で出産できない事は、住む街を選ぶ時のマイナスポイントになると思えます。	燕市に産院が無い事は認識しており、県立病院等に設置していただくよう、機会ある毎に、県など関係機関に要望しているところです。また、燕市内ではありませんが、令和5年度開院予定の県央基幹病院の早期開院についても、引き続き要望してまいります。	健康づくり課
9	安心して産み育てられる子育て支援	コロナウイルスの感染拡大防止というところで、いろいろな影響が出ていたと分かりました。子育て支援に関しては、私も子どもができて、当事者となりましたが、お母さんと子ども一対一では難しいことを実感しています。オンラインや人数を制限しての実施等、工夫をしながら行ってほしいと思えます。	新型コロナウイルスの感染拡大のため、様々な事業が中止となり、施設の利用が制限されたりしていますが、子育てに不安を抱える保護者への支援は途切れさせることはできません。ご意見のとおり、工夫をしながら子育て支援の継続を図りたいと思えます。また、保護者が安心して健診・相談に参加できるよう、受付時間の分散化、健康チェック、消毒の徹底など、感染防止対策を講じて実施しております。オンライン相談も新生児期の保護者や双子を育てておられる方、病気の回復期にある方など外出が難しい方からの利用もありました。今後も幅広い方から利用していただけるよう、周知に取り組んでまいります。	健康づくり課 子育て支援課

No.	施策名	意見・質問	回答	担当課
10	安心して産み育てられる子育て支援	「女性の就業率が高い燕市の特徴に合わせ、妊婦・両親学級を毎月土曜日に開催」とあるが、燕市の男性の収入が全国的に低く、共稼ぎしないと生活できない現状があるのではないだろうか？	男女別の収入額平均の統計がないため、燕市の男性の収入が低いかどうかを確認することはできませんが、平成28年実施の経済センサス(※)によると、燕市の平均給与額は新潟県の平均よりも若干低い状況となっております。このことから、経済的な理由により共働きをしている家庭もあるものと思われそうですが、一方で女性の就業率が高いということは、女性の社会進出が進んでいるとも捉えることができます。 市といたしましては、今後も女性が安心して子育てと仕事を両立できる職場環境づくりを推進していきたいと考えております。 ※経済センサス 経済産業省が実施する調査で、すべての事業所及び企業を対象に経済活動の実態を明らかにするとともに、各種統計調査実施のための基礎資料を得ることを目的に実施しています。	地域振興課
11	障がいのある人への切れ目のない支援	障がいといっても「知的」「身体」「精神」それぞれの症状が全く違うので、支援方法もそれぞれ変わってくると思いますが、区別はされているのですか？	障がいの種別ごとはもちろんのこと、個人の生活スタイルや多様なニーズに対応できるサービスを提供しております。また、障害福祉サービス事業所などの関係機関とも連携した支援体制を構築しております。	社会福祉課
12	移住・定住希望者へのサポート強化	空き家対策と連携はされているのですか？	移住後の住まい情報の1つとして、空き家等対策推進室と連携し、移住希望者や定住希望者に対し、空き家情報を提供しております。具体的には、首都圏での移住イベントやオンライン移住相談にて、当市の「空き家・空き地活用バンク」のホームページを紹介するとともに、オーダーメイド型移住ツアーでは現地の案内もしております。移住した方々に対しても、メルマガや交流会で「空き家・空き地活用バンク」のホームページを紹介し、定住につなげていきたいと考えております。	地域振興課

No.	施策名	意見・質問	回答	担当課
13	移住・定住希望者へのサポート強化	どんな人をターゲットに移住・定住をすすめるのですか？燕に来ると、どんないいことがあるのですか？単に「子育てしやすい」と、他の地方都市と差別化されないと思います。	移住・定住のメインターゲットとして考えているのは、20代から40代までの比較的若い年代の人たちで、「ものづくりのまち」燕市で働くことや生活することに興味を持っている人たちですが、そのほか、燕市以外で就職・起業を検討している方々に対しても、通勤のしやすさ暮らしやすさ、家賃相場などのメリットを紹介しております。他の地方都市と比較したときに考えられる燕市へ移住するメリットとしては、主に次の3つです。 ①仕事（働く場所）があること。 ②家賃補助や移住支援金などの各種補助制度があること。 ③雪も少なく平地であり、山も海も近くにあって暮らしやすいこと。 特に仕事（働く場所）が近くにたくさんあるということは、移住希望者にとって、とても大きなメリットです。上記①から③を中心に、燕市が持つ様々なメリットを他の地方都市と差別化しながら伝えていきたいと考えております。	地域振興課
14	健全な心と体を支えるスポーツの推進	指標項目について、「市民一人当たり」の回数が基準になっているようですが、利用人数、参加人数で、同一人物だった場合、必然的に数字が上がります。より多くの個人に参加してもらう工夫はされていますか？	月に1回、3地区の拠点体育館で「スポーツ祭り」を開催し、体育館を利用した事のない方でも予約無しで気軽に運動を楽しんでいただける機会を設ける等、「初めての利用」の促進に努めております。	社会教育課
15	心豊かな生涯学習・文化活動の充実	指標項目について、「市民一人当たり」の回数が基準になっているようですが、利用人数、参加人数で、同一人物だった場合、必然的に数字が上がります。より多くの個人に参加してもらう工夫はされていますか？	指標としている講座・講演会等については、定期的な施設利用と異なり、対象や分野等が異なっていることから、重複している方々は多くないと考えております。 また、スマホ講座等のニーズを捉えた新たな講座を開催するとともに、市公式ウェブサイトはじめ各種SNSなど、積極的な情報発信を行っております。	社会教育課

No.	施策名	意見・質問	回答	担当課
戦略2 活動人口増戦略				
16	若者の活動の活性化	燕ジョイ活動部等で、積極的に活動できる若者が増え、大変うれしく思っています。	ご評価いただきありがとうございます。高校の先生方や地域の皆様のご協力により、年々、活動の幅が広がってきていると感じています。今後も、若者の活躍をフォローしていきたいと考えておりますので、引き続きよろしく願いいたします。	地域振興課
戦略3 交流・応援(燕)人口増戦略				
17	イメージアップ・ふるさと応援	ふるさと燕応援寄附金の増もあり、「燕市のイメージアップ」の満足度は市民意識調査でも年々向上しており評価できる。今後のさらなる取組に期待したい。	ふるさと納税については、全国的に認知度が年々高まっていると同時に自治体間での寄附者の獲得競争が激化しています。そのため、複雑多様化する寄附者ニーズに対応するため、令和4年度から総務課内に「ふるさと納税係」を新設し、今まで以上に受入体制を強化します。今後とも、更なる燕市のイメージアップを図るため、ふるさと燕応援寄附金の活用とともに、各種媒体を通じて効果的なプロモーションに取り組んでまいります。	総務課 広報秘書課
戦略4 人口増戦略を支える都市環境の整備				
18	公共交通の整備	分水駅または吉田駅から分水高校までの通学時間帯のバスがあればと思います。	燕弥彦地域公共交通会議の中で、通学時間帯も視野に入れた循環バスなどの公共交通の運行再編に取り組んでみたいと考えております。	都市計画課
19	快適な環境の確保	ゴミとリサイクルについて。3R推進の現状はどうなっていますか？ 燕市内から出された粗大ごみの山を見ました。まだ使えるものがたくさんありました。非常にもったいないと思いました。先日、新潟市のエコパークに行ったので、詳細について別紙同封します。	指標項目としております使用済小型家電の回収量が、すでに最終目標値を上回っていること、また、「カンカンBOOK事業」登録事業所数も毎年増えてきていることなどから、着実に推進が図られているものと考えております。新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛により、一時的に家庭ごみの量が増加しましたが、これまでの環境保全の取組により、ごみの総排出量は概ね微減傾向で推移してきております。 新潟市のリサイクル事業について、ご提案ありがとうございます。ごみ処理は、燕・弥彦総合事務組合が担っておりますので、今後の協議の中で参考にさせていただきます。	生活環境課

No.	施策名	意見・質問	回答	担当課
全体				
20	全体	基本目標について、5ページ、出生数の減少が止まり、6ページ、社会増減のマイナスが小さくなっており、様々な施策の効果がでてきているのではないかと思います。その結果として、9ページ、市外に引っ越したいという方の割合も減少しております。一方で、14ページ、農業の振興、37ページ、快適な環境の確保、40ページ、道路環境の3項目は前年度に比べて満足度が低下していました。どれも重要度が高い項目のようです。原因を解明して、対策を検討されると良いと思います。	満足度が低い施策については、市の施策の成果が伝わっていない場合や、そもそも市民ニーズに対応していない場合などが考えられます。引き続き原因を分析し、市民満足度向上に向けた取組を行うとともに、第3次総合計画でも取組を継続してまいります。	企画財政課
21	全体	目標人口は減少してはいるが、減少率は県内の中で少なく、非常に評価出来ると思います。出生数比較でも評価出来ると思います。人口の社会増減が好転したことは喜ばしい。「雇用対策」「農業の振興」「子供の学力低下」「医療体制」など非常に気になる問題が多いようです。いろいろな目標や施策が多方面にわたり、新型コロナウイルス感染症の影響により目標を下回る結果となったことは大変残念なことですが、このコロナ禍が終息した後に今まで積み上げて来たものが大きく花咲いて実を結ぶことを期待しています。	ありがとうございます。委員ご指摘のとおり、課題を抱える施策が複数あり、それぞれの要因分析を行うとともに、現在も課題解決に向けた取組をそれぞれ実施しているところです。また、新型コロナウイルス感染症の影響により実績が悪化した指標については、人の流れの制限・停滞によるものが多く、感染症を契機とした急速なデジタル化が進展している中で、行政、企業、地域のDX化を推進し、市民サービスの向上や、企業の競争力強化を図ってまいります。また、感染症の収束を待たずとも、ウィズコロナの取組を進め、変化する社会環境に対応した施策を展開してまいります。	企画財政課
22	人口	多くの取組で成果を出していると思います。人口について、今いる人が住み続けたいと思う街づくりだと思います。→良い状況だと思います。→何かをするには、どうしてもお金が必要となります。人口(住民)を増やすことが重要です。ふるさと納税も良くいっていると思います。	ありがとうございます。引き続き、第2次燕市総合計画の「3つの人口増戦略」を柱に各施策を実施し、人口の増加に繋がるよう、取組を進めてまいります。また、本市では、ふるさと納税制度によってご寄附いただく寄附者の皆様を交流・応援(燕)人口と位置づけ、本市を応援くださる方の増加に向けたPRに取り組んでおります。今後も、ふるさと納税に加え、国や県の交付金等を積極的に活用し、財源の確保に努めてまいります。	企画財政課

②第3次総合計画策定の考え方

No.	意見等	回答	担当課
1	<p>第3次総合計画の計画期間は、8年ではなく4年(または5年)とされるようご検討ください。最近の社会経済情勢の動きは激しいです(例:8年前に今日のコロナ禍の状況を予測していたでしょうか)。この様なもと、8年間を計画期間とするのは、計画を“時代遅れ”とさせかねません。たとえ中間見直しをするにしても、あくまで見直しに留まり、根本的な改訂ではありません。同じ作業をするのであれば、改訂に位置づけるべきと考えます。</p>	<p>委員ご指摘のとおり、最近の社会経済情勢の変化は激しく、コロナ禍によって更に激しさが増したものと感じております。そのような中で、総合計画の期間については短期としたほうが、時代の変化に即応した内容にできることは確かであります。</p> <p>一方で、燕市総合計画は、計画期間を3～7年程度としている本市の分野別個別計画に方向性を与える最上位計画であることから、個別計画よりも長期となる必要があると考えております。</p> <p>新型コロナ収束後にどのような社会環境の変化が待っているのかは、市としても見通しが困難であります。そのため、場合によっては4年後に見直しもしくは改訂を行うという前提で、8年計画を策定したいと考えております。</p> <p>なお、令和4年を始期とする総合計画を策定する県内他市は、村上市と佐渡市であり、計画期間は村上市が5年、佐渡市が10年です。令和5年を始期とする県内他市は、新潟市、三条市、上越市、本市であり、新潟市は8年、三条市は未定、上越市は8年の予定とのことです。</p>	企画財政課
2	<p>V字回復には相当の努力が求められると思います。</p> <p>①行政が取り組むこと、②民間にお願いすること、③両者で協働すること、各項目について主体と取組の内容を整理しておくことが重要ではないかと思いました。</p>	<p>委員ご指摘のとおり、V字回復に向けては行政だけの努力だけではなく、市民や企業の皆様等との協働が欠かせないものであると考えております。</p> <p>施策の推進にあたっては、市の附属機関との協議はもとより、市民の皆様の声に耳を傾け、市民ニーズと社会変化に即した行政サービスを行うことで、1日でも早くコロナ禍前の水準に戻すことを目指してまいります。</p>	企画財政課
3	<p>今後の状況がどう変化していくかはわかりませんが、withコロナでの取り組みになっていくかと思えます。学校もですが、その中でどう行事を行っていくかを検討しています。新しい形での取り組みを行っていききたいと思います。</p>	<p>市が実施する行事等についても、感染症対策を講じた上で実施しているほか、オンラインで開催するものもあります。今後も、進化する技術を取り入れた柔軟な対応を行ってまいります。</p> <p>コロナ禍による社会経済情勢の変化により、アフターコロナにおける行事の開催方法は現在のものとは異なる可能性があります。その場合でも、引き続き市の行事等についてご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。</p>	企画財政課
4	<p>コロナ禍からの回復を目標にしながらも、新しい生活様式を見据えて、IT化・デジタル化を進めて行けるといいと思えます。</p>	<p>感染症を契機として急速にデジタル化が進展しており、委員ご指摘のとおり、地域社会においてもその重要性が高まっております。そのような中で、令和4年度の新年度予算案においても、令和3年度に引き続き「地域社会のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進」を重点施策の1つに位置づけ、①市民サービスのデジタル化、②企業・農業者のDX推進支援、③デジタル市役所の推進、に取り組んでまいります。</p>	企画財政課

No.	意見等	回答	担当課
5	市民アンケートの結果が何年も同じような所があるのではないかと思いますので、フィードバックを丁寧に見た方が良くと思います	結果が思わしくないものについては、改善に向けた要因分析を行い、課題解決策を検討してまいります。 良い結果であるものについても更に数値が伸びるよう、取組を進めてまいります。	企画財政課
6	この第3次燕市総合計画の中に、新しい言葉が出ています。今、毎日のようにこれらの言葉を目に、耳にするようになりました。DX、脱炭素、ダイバーシティ、SDGs、デジタル化…。人々の中には、これらの言葉をよく理解してバリバリ仕事をし、日常の生活に活かしていただける方々、なかなか言葉の意味が理解できず、疎外感を味わっていただける方々…。 両者いられると思います。これらの言葉を、市民の為に分かりやすく解説して提供していただけたらと思っています。	計画書内で、これらの新しい言葉を使用する場合は、説明文を加えるなど丁寧な対応を心掛けてまいります。	企画財政課
7	コロナ発生により目標達成できないのは仕方ないと思います。今後も継続していく部分はあると思うので、現状を踏まえた目標を立て直すことも必要だと思います。	現行の第2次総合計画は、令和4年度末で終期を迎えますので、指標の数値が悪化した指標については、少しでも改善できるように努力してまいります。それでも目標達成が困難な指標のある施策については、第3次総合計画にて適切な指標項目を検討したうえで、施策の目的達成に向けた取組を推進してまいります。	企画財政課
8	コロナによって大幅に予定がずれています。コロナの終結が見えてない段階でV字回復を目指すなら、具体的にどうすれば良いか？非常に難しいと思います。	委員ご指摘のとおり、V字回復は簡単なことではありませんが、日々変化する社会環境に柔軟に対応するとともに、社会経済活動と感染症対策を両立させ、1日でも早くコロナ禍前の水準に戻すための取組を推進することで、市民の皆様の命と生活を守っていきたいと考えております。	企画財政課

③その他

No.	意見等	回答	担当課
1	ふるさと納税の返礼の際、すでに実施されていると思いますが、「燕で働く」ことをPRしてください。他の企業城下町とは違う、燕地域の中小企業の力強さは本当に素晴らしいです。技術を持つ人が、70代、80代でも現役で働ける、働いているのは他の地域にはない特色です。 培ってきた技術力に、デザインや広報力、新しい時代の変化に合った環境整備(デジタル化、AIやロボット導入、働く人への福利厚生、適正な賃金etc.)が加わるとよいのではないのでしょうか。	委員おっしゃるとおり、当地域には高い技術力があり、そこから生まれる高品質な製品を返礼品として贈呈することで、当市の魅力を寄附者に伝えております。 現在も、パンフレットや仲介サイト等において、返礼品に加えて働き手のごだわりや魅力を伝える工夫をしておりますが、今後もさらなるPRに努めてまいります。	総務課
2	SDGsの観点からも、今後の会議の在り方にもデジタル化が進むと良いと思います。膨大な紙の資料はエコにはなってないと思います。	委員ご指摘のとおり、今回の総合計画審議会においても、紙の資料を配布させていただきました。このことがエコになっていないことは事実であります。 現状において、市役所庁内ではデジタル化を進めており、市議会や職員の会議では、タブレット型PCを活用したペーパーレス会議を行っておりますが、市民や企業の皆様からご参加いただく会議等についてはデジタル化が進んでおりません。 今後、他自治体での取組を研究し、先進事例があれば導入に向けた検討を行いたいと思います。 また、会議等にご自身のノート型パソコンやタブレット端末をご持参いただける方向けに、紙の資料ではなくデータをお送りする取組を行ってまいります。	企画財政課
3	今年は、大河津分水通水100年の記念でもあります。コロナ禍が回復して、たくさんの方が燕市に興味を持ってもらえるようなPRが出来ると思います。	令和4年度は、全庁的に通水100周年を記念した事業を実施します。各課と連携しながら、多くの方々から燕市に興味を持っていただけるようなプロモーションに取り組んでまいります。	広報秘書課
4	第2次総合計画実績評価書は、スタッフ各位の御尽力により大変よくまとまっていると思います。私の個人的な感想ですが、燕市民として、ますますこの市が好きになり、誇りに思えます。 しかし、まだ課題も多く、これからもそれらに取り組んでいかなければなりません、益々住みよい、輝く市にする為に、これからもよろしくごお願い致します。	どうもありがとうございます。引き続き、市政運営にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。 また、現在市が抱える課題についても、総合計画や分野別個別計画を柱に、施策の目的達成に向けた取組を推進してまいります。	企画財政課

No.	意見等	回答	担当課
5	資料4、第2次燕市総合計画実績評価書(令和3年度末時点)は、指標項目の実績値変化と市民意識調査の経年変化が1ページで確認でき、わかりやすくまとめてありました。	どうもありがとうございます。今後も、分かりやすい資料づくりに努めてまいります。	企画財政課
6	アンケートについて。燕市人口78,094人(2021.12月)に対し、2,000人だと2.56%、そのうち有効回答が831人となると1.06%しかない。この数字で統計を出して良いものだろうか？ アンケートの回収率を上げるために粗品進呈はどうだろうか？粗品は物ではなく、てまりの湯入場券等はどうだろうか？ アンケート方法についても、SNSをもっと有効に利用したらどうだろうか？燕のライン登録は8,500人を超えているようです。その他、「つばめ〜ル」「ツイッター」を合わせたらかなりの数になります。	一般的なアンケート調査では、アンケート結果の信頼水準である許容誤差を5%に設定する場合があります。市民アンケートにつきましては、全体数78,000人、信頼度95%、回答比率42.6%(R3アンケートの回答率)、サンプル数2,000人で計算した場合、許容誤差は2.1%となり、一般的なアンケートに比べて十分な回答数を確保しているものと考えております。 ただし、現状の回答率に満足することなく、委員ご指摘のとおり、回答率上昇に向けた取組を引き続き検討してまいります。 アンケート回答者への粗品贈呈については、実現に向けて複数の課題があると認識しておりますが、課題解決に向けた検討を進めてまいります。 アンケート方法につきまして、「防災つばめ〜ル」と「ツイッター」は登録者の身元が判断できず、信頼度の高さが必要なアンケートには向いておりません。 「LINE」については、住居地、年齢、性別の情報を登録いただいておりますので、今後、簡易なアンケートに活用が可能か検討してまいります。	企画財政課